

平成 26 年 4 月 7 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第2回会合
開催日時	平成 26 年 3 月 4 日(火) 13:30 ~ 17:30
開催場所	日本原子力発電株式会社本店 2階 第2、3会議室
参加人数	委員 19 名 (山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、高田委員、斎藤委員、岡本委員、越塚委員、可児委員、糸岡委員、松宮委員、坂場委員、西委員、西川委員、小竹委員、堺委員、久保委員、岡野委員、戸田委員)、常時参加者 8 名
議 事	<p>1. 検討方針と論点 久保委員より、本研究専門委員会の方針について説明があった。本委員会では安全アプローチを中心に SDG(安全設計ガイドライン)の設計要件の具体化について議論を行っていくことになった。</p> <p>2. SDC/SDG 状況報告 岡野委員より、SDC(安全設計クライテリア)の状況、SDG 構築における論点と進捗、及び炉心反応度係数・ボイド反応度係数に対する安全上の位置付けについて説明があり、議論がなされた。</p> <p>3. 安全アプローチ SDG に関する検討 久保委員より、設計基準事故や設計拡張状態に関してガイドラインを作成する上での反応度問題、除熱喪失問題及び SFR(ナトリウム冷却高速炉)における実質的排除の考え方について説明があり、議論がなされた。</p> <p>4. 外的事象に対する安全設計の考え方 山野幹事より、外部事象に対しどのような設計をする必要があるのかについて説明があり、議論がなされた。</p> <p>5. プラントイメージ 島川幹事から、プラントイメージとして SDC 及び SDG を FBR 実証施設にどのように反映させているかについて説明があり、議論がなされた。</p> <p>6. 系統別 SDG のイメージ 谷氏から、系統別 SDG 構築イメージについて説明があり、議論がなされた。</p> <p>7. その他 次回委員会は 2014 年 6 月開催にて調整。詳細は別途連絡。</p>
備 考	

平成 25 年 10 月 21 日

専門委員会開催報告

専門委員会名	「第4世代ナトリウム冷却高速炉の安全設計ガイドライン」研究専門委員会第1回会合
開催日時	平成 25 年 10 月 1 日(火) 13:30 ~ 17:00
開催場所	三菱 FBR システムズ 16 階 16ABC 会議室
参加人数	委員 21 名 (山口主査、守田幹事、島川幹事、山野幹事、糸岡委員、松宮委員、坂場委員、植田委員、与能本委員、中井委員、塚委員、久保委員、岡野委員、岡本委員、斎藤委員、高田委員、中嶋委員、西委員、西川委員、戸田委員、神島委員)、常時参加者 8 名
議 事	<ol style="list-style-type: none">1. 主査挨拶 山口主査より、本研究専門委員会の設立の背景、安全設計ガイドラインの構築の意義及び開催期間等の説明を含む挨拶があった。2. 設立趣旨説明 本研究専門委員会の設立趣旨、第4世代炉国際フォーラム(GIF)での検討との関係、安全設計ガイドライン整備に関する実施体制、及び整備スケジュール計画について説明があった。3. 第4世代 SFR の安全設計クライテリア - 経緯と概要 - これまでの安全設計クライテリア特別専門委員会及び GIF での活動内容と成果についての説明があり、議論がなされた。4. 各国の SFR 開発状況 各国(日、仏、米、中、露、印、韓)の SFR の開発計画及び設計概念についての説明があった。5. 安全設計ガイドライン - GIF における構築方針 - GIF における安全設計ガイドライン構築の背景、計画や内容イメージについて説明があり、議論がなされた。6. 本委員会の検討方針と論点(案) 本委員会における安全設計ガイドラインの位置付け、検討方法及び技術的論点等について説明があり、議論がなされた。7. 委員会の進め方(案) 本委員会では全般的な議論を行い、系統ごとの技術的な検討は作業会を開催して柔軟に進めることになった。8. その他 次回委員会は 2014 年 3 月 4 日(火)開催にて調整。詳細は別途連絡。
備 考	